

令和7年度 さわうち病院看護職員 クリニカルラダーレベル別 キャリア開発名簿

ラダーレベル別		到達目標	看護実践	メンバー
レベルⅠ	新人	1. 助言を得てケアの受けてや状況(場)のニーズをとらえる 2. 助言を得ながら、安全な看護を実践する 3. 関係者と情報共有ができる 4. ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	・医療安全 …安全な看護の提供 ・感染防止対策…マニュアルに沿った行動 ・急変時の対応 … BLS・処置・記録 ・AED他医療機器の取り扱い ・情報収集・診療記録上の情報の活用 ・看護技術・看護記録・病態 ・看護計画立案と評価・追加・修正 ・看護計画に基づいたケア ・チーム医療 ・病院、看護科の理念や目標・部署の目標の理解 ・学習課題の明確化・自己啓発・業務改善・看護研究 ・守秘義務の遵守・プライバシーの配慮	
レベルⅡ		1. ケアの受けてや状況(場)のニーズを自らとらえる 2. ケアの受けてや状況(場)に応じた看護を実践する 3. 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	・看護サマリー ・事例発表 ・症例別看護実践 ・他部署、他科研修 ・リーダー業務 ・個性性を考慮した日常ケアでの看護実践 ・患者、家族参加型看護計画 ・他職種と連携したケアの提供 ・カンファレンス参加	
レベルⅢ		1. ケアの受けてや状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる 2. ケアの受けてや状況(場)の特性をふまえた看護実践をする 3. ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる 4. ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	・看護上の問題の優先順位 ・看護科研修会講師 ・体験学習担当 ・看護観 ・看護研究 ・看護必要度 ・経済性を意識した物品の管理 ・診療報酬など医療情勢への関心 ・他職種と連携したケアや情報の提供・場の設定 ・新人プリセプター	
レベルⅣ		1. ケアの受けてや状況(場)を統合しニーズをとらえる 2. 様々な技術を選択・応用し看護を実践する 3. ケアの受けてを取り巻く多職種の力を調整し、連携できる 4. ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	・看護上の問題の優先順位 ・看護科研修会講師 ・体験学習担当 ・看護観 ・看護研究 ・看護必要度 ・経済性を意識した物品の管理 ・診療報酬など医療情勢への関心 ・他職種と連携したケアや情報の提供・場の設定 ・新人プリセプター	
レベルⅤ		1. ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえてニーズをとらえる 2. 最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する 3. ケアの受けての複雑なニーズに対応できるように、他職種の力を引き出し連携に活かす 4. 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる	・社会支援の活用提案 ・マニュアルの整備の推進 ・委員会リーダー ・看護管理の基本 ・学生指導 ・エルダー	
管理者Ⅰ	主任	1.自部署の管理者と共に看護管理を実践できる	・看護管理 ・危機管理 ・スタッフ指導 ・看護研究 ・看護科研修会講師 ・エルダー ・学生指導	
管理者Ⅱ	上席主任	1. 自部署の看護管理を実践できる	・看護管理 ・部署管理 ・危機管理 ・目標管理 ・学生指導・スタッフ指導 ・師長会	
管理者Ⅲ	副総看護師長 師長	1 トップマネジメントを担う一員として看護管理を実践できる	・部署管理 ・危機管理 ・目標管理 ・人材育成 ・学生指導 ・地域連携 ・看護科研修会アドバイザー	
管理者Ⅳ	総看護師長	1. 病院全体の管理・運営に参画するとともに地域まで視野を広げた看護管理を実践できる	・危機管理 ・組織管理 ・人材育成 ・学生指導 ・看護科研修会アドバイザー ・勤務表作成	